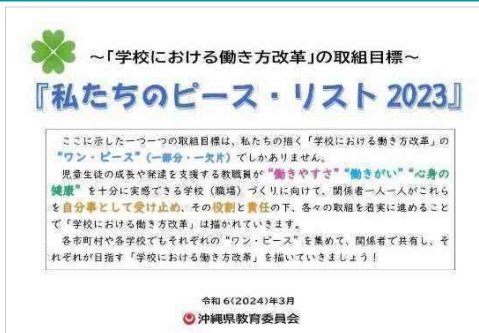


◆ 学校における働き方改革に、特効薬はない。

👉 **やれそうなことからやる!**
(解決に時間を要する取組も進めながら…)



Q11 見直すべき業務や行事等をどのように洗い出したらよいですか?

☞ 現在、勤務時間外に行っている業務や行事等を明確にし、業務や行事等を勤務時間内に収められるようにするために、業務の役割分担・適正化をする必要があります。

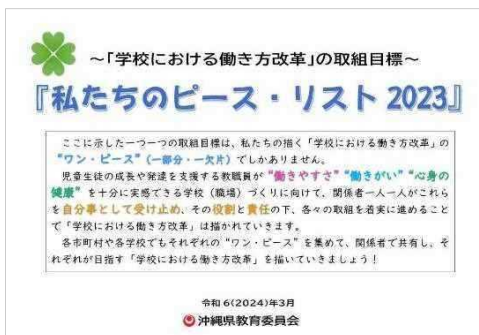
業務の役割分担・適正化には、業務の統合や精選、削減も含め、まず「持続可能な取組」「優先順位をつける」「真に必要な取組への取捨選択」等の視点から取り組むことが効果的です。

【参考】業務の役割分担・適正化する実践例

- ◇ 持続可能な取組 ☞ 限られた時間・人員・費用で無理のない実践
 - ・慣例や形式にとらわれていないか?
 - ・児童生徒や教職員が疲弊していないか?
- ◇ 優先順位をつける ☞ 教育課程全体の「取組期間・時間と教育的効果」で判断
 - ・いつまでの取組か?
 - ・達成の可否(期待する効果)をどのように判断するか?
- ◇ 真に必要な取組への取捨選択 ☞ 「やったほうがいい」程度の取組はやらない判断
 - ・何のための取組か?
 - ・取り組むことによるデメリットは?

◆ 学校だけ、教育委員会だけで完結するものではない。

👉 **自分事としてやる!**
(それぞれの立場で各々の役割・責任にもとづいて)



◆ 保護者や地域社会が担える業務の連携協働

- 【例】 ● 登下校に関する対応 ● 地域ボランティアの連絡調整
- 部活動の対応 ● 地域行事等の参加の対応
- 放課後から夜間における見回り、児童生徒が補導された時の対応等々・・・

👉 **社会全体の意識改革、理解醸成が必要**

対話が
大切

- 例えば ▶ 地域学校協働本部・コミュニティ・スクールの推進
- ▶ 学校部活動の地域連携・地域クラブ活動への移行

Q14 教職員の地域行事等への動員を見直すには、どのようにしたらよいですか？

☞ 当該教育委員会や当該実行委員会等と連携し、教職員の地域行事等への参加は自由参加にする等の調整を行うことが基本となります。

調整が難しい場合は、休日等の教職員の動員を勤務として取り扱えるか検討することなどが考えられます。

【実践例】・地域行事の一部を教育課程へ位置付け（県内市町村立中学校）

・勤務時間の割振りに対応（県内市町村立小学校）

Q15 具体的な取組を進める際に、保護者や地域の理解を得るためには、どのようにしたらよいですか？

☞ 保護者や地域の理解を得るためには、保護者や地域とのコミュニケーションを図る場を設定し、学校における働き方改革の目的を確認するとともに、学校の勤務実態や取組状況のデータ等を用いて現状を伝えることが重要です。

その上で、「教職員が忙しすぎることは、子供たちのためにならないこと」「具体的な取組を進めることで、子供たちへの教育にどのような効果が得られるのか」等、具体的な取組を進める必要性やねらいを共有することが大切です。

65



昨年後半あたりから県内の各市町村や地域において働き方改革のこれまでにない**新たな取組の動き**が見られてきています！

皆様の市町村ではいかがでしょうか？
この動きを一過性のものとせず、全県的なものとし、
今後とも各々の役割と責任のもとで連携協働をどうぞよろしくをお願いします。



66

Q10 出張や年休等による授業の補欠等への対応による教師の多忙化を解消するためには、どうしたらよいでしょうか？

☞ 出張や年休等による授業交換や補欠の組み方等、基本的な対応方法を事前に全職員で確認しておくことが大切です。

授業交換ができない等のときには、急な対応が必要な場合がありますので、対応してくれた職員への感謝の気持ちを伝える声かけなど、日頃から「良好な人間関係」の構築が重要となります。

【実践例】・良好な人間関係構築に向けて定期的な対話の時間の設定（県内市町村立小学校）

・学年担任制や一部教科担任制等の計画的な導入（県内市町村立小学校）

67

Q18 部活動の負担を軽減するためには、どうしたらよいですか？

☞ 部活動指導員配置や部活動における地域移行の取組等が効果的ですが、予算と人材の確保、地域移行に向けた体制整備等に時間を要することが想定されます。

各教育委員会においては、部活動の地域移行の検討や学校長と相談のうえ、拠点校方式や他校との合同部活動の検討など学校支援体制の構築や、地域学校協働本部等を活用した外部指導者等の人材発掘等が考えられます。

各学校においては、複数の顧問によるシフト制や時間割の工夫等による勤務時間内での部活動時間の確保や最終下校時刻の調整、外部指導者の活用等が考えられます。

【実践例】・校長が委嘱した外部指導者のみでの部活動練習や休日の練習試合の実施を可能とする環境整備（県内市町村教育委員会）

・時間割で5時間授業の曜日を増やし、勤務時間内に活動時間を確保（県外中学校）

68

- 沖縄県教育委員会
- 学校における働き方改革推進に係る本県の取組状況の公表
 - ・ 沖縄県教育委員会のホームページに働き方改革推進課のページを新設して公表
 - 年間授業時数の点検、学校行事の見直し、在校等時間の把握方法の再確認
 - ・ 年間授業時数の点検（1,086時間以下）、学校行事の精選・重点化の促進
 - ・ 在校等時間の把握方法（土日含む）の再確認
 - 勤務時間に関する教育委員会規則の整備
 - ・ 時間外在校等時間の上限方針（月45時間、年360時間）の管理規則を整備
 - 春季休業期間に関する教育委員会規則の改正
 - ・ 繁忙期となる年度末の業務時間を確保するために春季休業期間を延長
 - シラバス（年間授業計画）の取扱いの見直し
 - ・ 令和4年度よりスクール・ポリシーの策定・公表が義務化を踏まえ、令和6年度以降の作成及び学校ホームページへの掲載の見送り

- 市町村教育委員会・教育事務所
- 首長部局と連携した教員負担軽減タスクフォースの立ち上げ
 - ・ 教員へのアンケート等を行い、教員の負担となっている業務等の洗い出しと、負担軽減に向けた全庁的な取組の検討・実施
 - 校務支援システム、自動採点アプリ・システム等の導入
 - ・ 校務作業や採点作業時間の短縮、校務の効率化
 - 校務DXの促進
 - ・ 教職員ポータルサイトによるGIGAに関する連絡や情報掲載
 - ・ 児童生徒・保護者向けポータルサイトでGIGAに関する情報掲載
 - ・ Chatを活用した研修等の連絡や情報共有
 - ・ Formsを活用した円滑な申請・受付・対応
 - ・ Classroomを活用し資料等の配布や課題等の提出
 - ・ 市内の活用事例をまとめ、「活用事例集サイト」に蓄積し活用促進
 - ・ ポータルサイトを活用した各学校の好事例の情報発信
 - ・ 校長会や教頭会における資料のペーパーレス化及びChatの活用

- 地区教育長会にて地区管内小中学校の統一の指針の策定及び取組の実施
 - ・ 「学校閉庁時刻（20：00）の統一」、「中学校の部活動の活動時間（18：00下校）の統一」を実施
- 春季休業期間に関する教育委員会規則の改正
 - ・ 繁忙期となる年度末の業務時間を確保するために春季休業期間を延長
- 部活動の地域移行に向けた取組
 - ・ 部活動の地域移行に向けた検討会議や説明会の実施、土日の部活動の地域移行の実施
- 教育事務所教職員業務改善推進スタンダード等の策定
 - ・ 教育事務所管内市町村教育委員会との協議による共通実践項目の制定及び共通実践

- 各学校
- ICTを活用した校務の改善
 - ・ 音声メッセージ機能付電話機の導入
 - ・ 校務支援システム、デジタル連絡ツール（欠席連絡、保護者との個別連絡、学校からの文書の通知等）の導入
 - ・ Chatを活用した連絡・情報共有
 - 校務の効率化の工夫
 - ・ 職員会議における議題の精選・オンライン開催・資料の電子化
 - ・ 会議等終了時刻の設定・厳守
 - ・ 一部教科担任制の導入による教材研究等の時間の確保
 - 時間割編成（日課表）等の工夫
 - ・ 年間授業時数を平準化し、週3回5校時（週27時間）設定による放課後の時間確保
 - ・ 毎週木曜日は朝のSHRなしの日課設定や8:30からの授業開始等による放課後の時間確保
 - ・ ノー委員会デーの各月1～2回設定による放課後の時間確保
 - ・ 週1回ノー残業デーの周知徹底
 - ・ 清掃活動時間の設定の見直し

The screenshot shows the official website of the Okinawa Prefectural Board of Education. At the top, there is a banner for the board with the text '沖縄県教育委員会 Okinawa Prefectural Board of Education'. Below the banner, there is a news section with a photo of a group of people and the text '令和5年度文部科学大臣優秀教職員表彰受賞報告会' (Award ceremony for outstanding teachers in FY2023). A video player is visible, showing a person in a classroom setting. There are also links for '教育者メッセージ' (Message from Educators) and 'SDGs' (Sustainable Development Goals).

The screenshot shows the '働き方改革推進課' (Work Style Reform Promotion Section) page. It includes contact information: 所在地 (Address) 900-8571 沖縄県那覇市京崎1-2-2 行政棟13階(北側), 電話 (Phone) 098-894-7883, and ファックス (Fax) 098-866-2724. Below this, there is a section for '働き方改革推進課の主な業務' (Main business of the Work Style Reform Promotion Section), which states that it focuses on work style reform, labor safety and health, and mental health support for teachers. There is also a section for '学校における働き方改革関連等' (Work style reform related matters in schools), with a red box highlighting '公立校務 (推進計画、取組目録等)' (Public school work (promotion plan, activity record, etc.)).

沖縄県公立学校における働き方改革推進計画
みんなの学校!ピースフル・プラン 《実践紹介》 Vol.01
 ～ 子供たちの未来を創る持続可能な学校を目指して ～
 令和6年4月

南風原町教育委員会

キーワード(「3軸・6視点」等) 「私たちのピース・リスト2023」との関連

・同僚・管理職との良好な人間関係の構築
 ・児童生徒・保護者との信頼関係の構築

No.30 初任者研修等の体系の見直し
 ・魅力ある研修の推進」の具体的な実践

令和6年度 学級びらき研修会

1 趣旨 児童生徒が不安なく、安心して学校生活がスタートできるように学級びらきのコツや、年間を見通した学級経営のあり方について、講話や演習等をおして理解を深め、教師の指導力の向上を図る。

2 日時 令和6年4月3日(水) 15:15~16:45

3 場所 南風原町中央公民館黄金ホール

4 対象 町立小中学校に勤務する教職員
 ○初めて学級担任する者
 ○本研修へ参加を希望する者

◆ 今回の研修会の特徴

- ・新年度当初の時期なので、教育委員会主体で開催 …… 学校の研修準備なし
- ・学校支援型の「3軸・6視点」を踏まえた研修内容 …… 信頼関係づくりがテーマ
- ・任意参加方式による参加者の主体性を尊重した研修 …… 参加できる人が参加
- ・開催時期と研修内容が先生たちとのニーズの合致 …… 不安感からワクワク感へ
- ・研修時間90分、講義だけでなく演習も含めた内容 …… 対面研修ならではの

◆ ポイント ① 時間と機会の創出

② 修了式、始業式の時期を変更して春休み期間を十分に確保していることも本研修会の開催や任意参加方式の研修会の実施につながっている。

写真:研修会の様子

学級びらきや授業びらきに向けて、先生と児童生徒、児童生徒同士の信頼関係構築に関する内容を中心に、グループによる演習(エクササイズ)も交えた研修会でした。

【参加者の感想】

- ・「笑顔は、人間関係づくりに効果があります。笑顔で毎日過ごす子どもも笑顔になります。安心感を与えるから意識します。」
- ・「春休みの新学期準備で気持ちが疲れていましたが、今日の学級びらきのはなしを聞いて、新しい学級の子とも違て会うのが少し楽しみになりました」

【働き方改革推進との関連】(南風原町教育委員会担当者より)

人間関係づくりを意識した授業づくりと学級づくりを展開することで、個々の児童生徒への対応や保護者への対応が円滑にできるようになり、働き方改革につながるものと考えています。

沖縄県公立学校における働き方改革推進計画
みんなの学校!ピースフル・プラン 《実践紹介》 Vol.02
 ～ 子供たちの未来を創る持続可能な学校を目指して ～
 令和6年5月

南城市立大里中学校 南城市教育委員会

キーワード(「3軸・6視点」等) 「私たちのピース・リスト2023」との関連

・同僚・管理職との良好な人間関係の構築
 ・長時間勤務の改善

No.17 ICTを活用した効率的・効果的な職員研修の推進
 ・適切な開催時期の設定、ICTを活用した校内研修の工夫

令和6年度 大里中学校 校内研修④

1 趣旨 教職員のウェルビーイングについて理解し、その向上に努める機会とする。

2 日時 令和6年5月1日(水) 15:15~16:15

3 場所 南城市立大里中学校(新世代室)

4 対象 大里中学校教職員

5 講師 南城市教育委員会 教育部 統括指導主事「学校業務改善について」

◆ 今回の研修会の特徴

- ・教職員が新年度の学校や生徒の様子をある程度把握できた時期に開催
- ・管理職と事務職員で企画して講師を招聘し、市教委との連携・協働体制を構築
- ・市教育委員会が目指す学校業務改善やその支援等について全職員で共通理解
- ・研修時間60分、講義だけでなく対話や交流も含めた内容
- ・研修後の感想等の集約はFormsを活用

◆ ポイント ① 教職員一人ひとりが自分事として考える場面の設定

② 一人ひとりが、これまでの業務を「減らす」視点「減らせない」視点で振り返り、「must・can・will」で書き出ししながら自分事として考える時間の確保。

管理職・教職員との良好な人間関係が伝わってくる交流場面でした。

「must・can・will」で業務を書き出し、自分事として考えていました。

写真:教職員同士の交流場面の様子
 業務を書き出す場面の様子

【参加者の感想】

- ・話を聞きながら、生きがいや働く意義などを改めて考えた次第です。ワークとライフ大切にしたいです。主体的、対話的で深い学びは生徒と反映して教師の姿であること、それは業務改善にも繋がることであると認識しました。
- ・働き方改革はただ、業務を時間短縮するためのコツではなく、人生をより良く生きるために教職の仕事と自分の生き方をどうクリエイトするのかが私の挑戦だと思います。

【働き方改革推進との関連】

南城市が目指す学校業務改善の方向である「子供としっかり向き合い、質の高い授業、教育活動ができる働き方に改善していく」イメージを揃え、学校における働き方改革を進めることにより、生徒たちの学びの質の向上につながる。

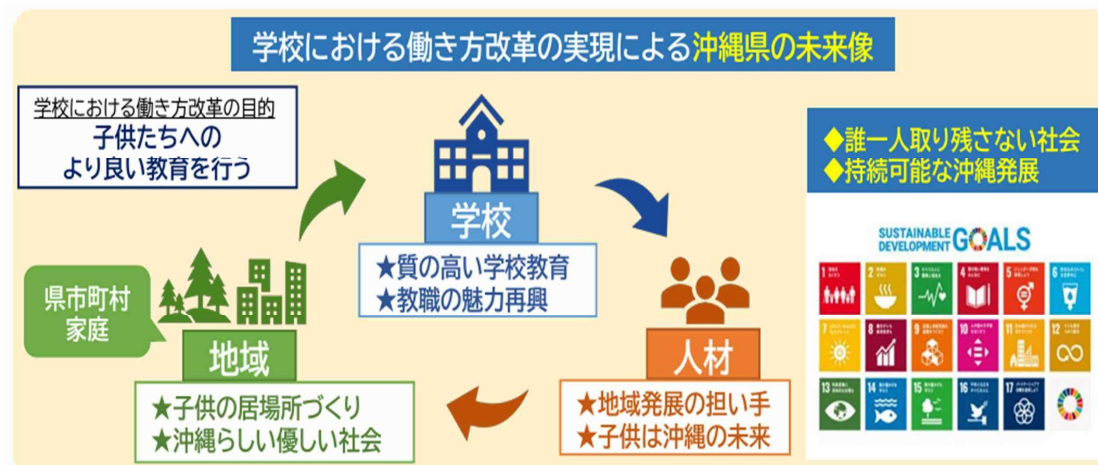
◆ 学校における働き方改革に、特効薬はない。

👉 **やれそうなことからやる!**
 (解決に時間を要する取組も進めながら…)

◆ 学校だけ、教育委員会だけで完結するものではない。

👉 **自分事としてやる!**
 (それぞれの立場で各々の役割・責任にもとづいて)

学校における働き方改革の実現による **沖縄県の未来像**



保護者・地域の皆様へ

学校・家庭・地域が一体となった取組が必要です!

- 子供たちが未来を切り拓いていくためには、学校・家庭・地域が連携・協働し一体となって、学校における働き方改革を推進し、子供たちへのより良い教育が行える環境を整備することが重要です。
- 学校における働き方改革が実現することにより、「学校が人をつくり、人が地域をつくり、地域が学校をつくる」という循環(サイクル)の中で、質の高い学校教育が行われ、沖縄の未来である子供たちが地域の担い手となり、沖縄らしい優しい社会の実現につながります。

学校における働き方改革の実現による沖縄県の未来像

学校における働き方改革の目的：子供たちへのより良い教育を行う

- 誰一人取り残さない社会
持続可能な沖縄の発展
- SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
- 学校
 - 質の高い学校教育
 - 教職の能力再興
- 地域
 - 子供の居場所づくり
 - 沖縄らしい優しい社会
- 人材
 - 地域発展の担い手
 - 子供は沖縄の未来

- 学校における働き方改革には特効薬はなく、「各々がその役割と責任に基づいて自分事として取り組む」「できることから直ちに取組む」という姿勢が重要となります。
- 学校・家庭・地域が、部活動や地域行事等の様々な活動における連携分担について対話を積み重ね、その連携分担の必要性等を理解した上で、連携・協働することが大切です。
- 子供たちのためにも、高度専門職である教師が、本来業務に専念できる環境の整備が必要です。教職員が忙しすぎるとは、子供たちのためになりません。
- 保護者や地域の皆様には、「私たちのピース・リスト2023」などを基に、学校・家庭・地域の連携分担を進めるなど、教育環境の整備に向けた様々な取組へのご理解とご支援を宜しくお願いします。

みんなの学校!ピースフル・プラン

～ 子供たちの未来を持続可能な学校を目指して ～

令和6(2024)年3月
沖縄県教育委員会

みんなの学校!ピースフル・プラン!リーフレット版

これから3年間!
新しいプランで進めよう!!

学校における働き方改革

令和6(2024)年3月
沖縄県教育委員会

～「学校における働き方改革」の取組目標～

『私たちのピース・リスト2023』

ここに示した一つ一つの取組目標は、私たちの描く「学校における働き方改革」の「ワン・ピース」(一部分・一欠片)でしかありません。

児童生徒の成長や発達を支援する教職員が「働きやすい」「働きがい」「心身の健康」を十分に実感できる学校(職場)づくりに向けて、関係者一人一人がこれらを自分事として受け止め、その役割と責任の下、各々の取組を着実に進めることで「学校における働き方改革」は描かれていきます。

各市町村や各学校でもそれぞれの「ワン・ピース」を集めて、関係者で共有し、それぞれが目指す「学校における働き方改革」を描いていきましょう!

令和6(2024)年3月
沖縄県教育委員会

公表資料等

解説資料(研修用動画等)

みんなの学校!ピースフル・プラン(解説)

〈解説動画〉

- みんなの学校!ピースフル・プラン(全体版)(17分42秒)(外部リンク)
 - ※(全体版)分割1(はじめに、方針等)(10分19秒)(外部リンク)
 - ※(全体版)分割2(推進体制等、地域・保護者の皆様へのお願い)(4分28秒)(外部リンク)
 - ※(全体版)分割3(Q&A、おわりに)(2分54秒)(外部リンク)

〈解説資料〉

- みんなの学校!ピースフル・プラン(解説)(PDF 4.5MB)

私たちのピース・リスト2023(解説資料)

〈解説動画〉

- 私たちのピース・リスト2023(7分29秒)(外部リンク)

〈解説資料〉

- 私たちのピース・リスト2023(解説)(PDF 3.9MB)

<https://www.pref.okinawa.jp/kyoiku/edu/1008490/1008491/1008508/1024388/1027590.html>

沖縄県の子どもたちのために
引き続き連携協働をよろしくお祈いします!

ご清聴どうもありがとうございました。